

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 竹の庵作成日: 平成 28 年 10 月 7 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議は2ヶ月毎に開催し、充実した会議を開催しているため、今後は地域福祉に貢献出来るように、参加委員の協力を得て実施し、地域から頼りにされる事業所を目指す。	会議が形骸化しないためにも、参加委員を増員し、家族の参加を得て、ホームの繁栄だけではなく、地域に役に立つグループホームとして、社会貢献に取り組んでいく。	12ヶ月
2	37	災害対策	2階の利用者9人が全員安全に、2階の火元に遠い一時避難場所で、安心して消防車が到着するのを待ち、利用者全員を救助出来る体制を構築していく。	夜勤者1人で9人の利用者を全員安全に救助することの難しさを職員全員が実感し、何回も訓練を繰り返し、避難誘導時間の目標を設定し、夜勤者が自信をもって取り組める体制の確立と、地域住民との相互協力体制を築いていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。